

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## フランス勤務 経験 思い 数々

金沢市都市政策局国際交流課 岩田 典子

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で渡航が1カ月遅れて始まった2年間のパリ事務所勤務は、あっという間でしたが、本当に多くの経験をする事ができました。

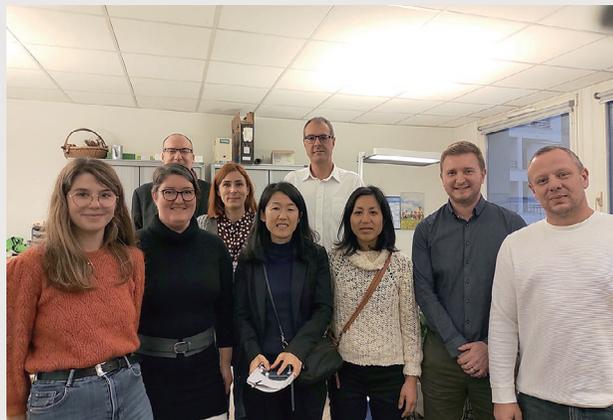
### クレアレポートと研修

業務の中で印象に残っているものの1つは、「ごみゼロ」をテーマにしたクレアレポート調査です。フランスでは、家庭ごみの分別が3種類ほどしかない一方で、リサイクル以前に、“ごみ自体を発生させない”という強いメッセージの発信がありました。惣菜店にmy容器を持ち込んで食品購入することが可能なことや、商店に容器包装を極力出さない商品が陳列されていることなど、消費者に選択肢があり、自分がどう行動したいかを考えさせてくれる場面がよくありました。調査で知った現地の取り組みや考え方は、ストーリー性や説得力があり、いつのまにか惹き込まれ、自分自身の生活に、楽しくごみを減らす実践を取り入れる行動にもつながっていました。レポート作成は、大量の伝書の情報を集めて必死に読み解く作業で、根気強さを要しましたが、上司や現地調査員の方に支えられ、この苦労は、今も役立つ現地の情報収集力を養ってくれたと思います。また、金沢市の姉妹都市ナンシー市では、数日間、研修という形で受け入れてもらい、家庭廃棄物課の方に直にお話を伺い、住民活動の現場を見学させていただきました。日本と比べながら考えさせられることが多く、とても興味深いものでした。

### 異なる文化の中で

物事の進め方や時間感覚など、異文化の中での仕事において感じる戸惑いと面白さは、海外勤務ならではの思出です。例えば、日本からの依頼でアポ取りをしよう

とするも、相手方から回答がなかなか得られず、どうしようもなくBプランを実行に移そうとした当日朝にOK回答がもらえた、というような、物事が期待通りに進まない場面は、仕事でも生活でもよく遭遇しました。こうした文化的な違いの気づきは数々ありましたが、現在、海外との調整や事業実施において、それらを考慮に入れて業務を進めることができている、役立っている経験の1つだと感じます。



クレアレポート調査でグラン・ナンシーの職員の皆さんと

クレアでの勤務は、日本各地の自治体職員や、異業種の方々との交流ができたほか、フランスの日本への関心の先や嗜好を学ぶこともでき、自らの情報や視野、業務を広げる財産にもなりました。

さまざまな経験を経て無事派遣を終えられたのも、クレアや派遣元はじめ、支えてくださった皆様のおかげでもあります。感謝しながら、今後も、幅広く市の取り組みや日頃の業務に活かしていけたらと思っています。

### プロフィール・ほか

●クレア在籍時の所属  
2021年4月～2022年3月 交流支援部経済交流課  
2022年4月～2023年3月 パリ事務所